

正誤表

『進行性疾患患者の呼吸困難の緩和に関する診療ガイドライン 2023 年版』第 1 刷（2023 年 6 月 20 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2024 年 10 月 8 日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
79	10-14 行目	<u>OIC は、μオピオイド受容体のサブタイプ (μ_1, μ_2) のうち主に中枢・腸管に存在する μ_2 受容体へオピオイドが作用することにより生じることが知られている。フェンタニルは μ_1 受容体に対する親和性が高く、μ_2 受容体に対する親和性が低いためモルヒネと比較して、OIC が生じにくい。呼吸抑制は、モルヒネやオキシコドンと比べて生じやすく、注意が必要である。</u>	副作用として、モルヒネと同様に、悪心・嘔吐はあるが、便秘および眠気の発現は比較的少ない。呼吸抑制はモルヒネやオキシコドンと比べて生じやすい可能性があり、注意が必要である。

以上